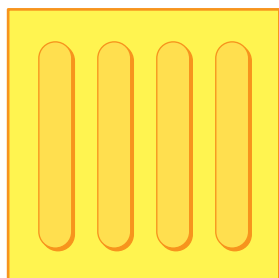


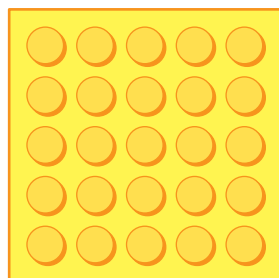
点字ブロックの上に自転車を止めたり、物を置いたりしていませんか？



まちの中を歩いていると、黄色の点状や線状の凸凹したブロックを見かけます。これは、目の不自由な人が安心して歩けるよう誘導するために設置されています。

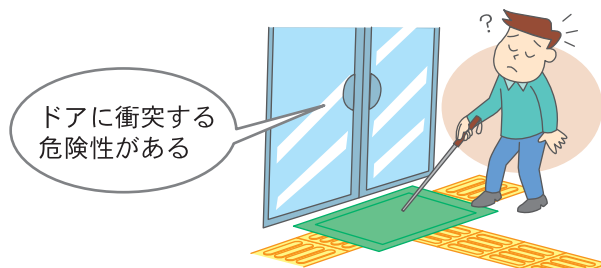
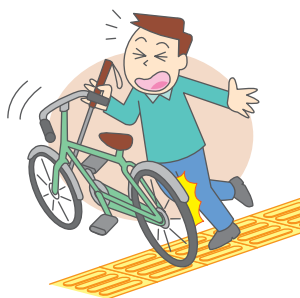


「進め」の線状ブロック
(誘導ブロック)



「止まれ」の点状ブロック
(警告ブロック)

この点字ブロックの上に自転車やバイクなどが停まっていたり、物が置かれていることがあります。大変危険であり、目の不自由な人が、ぶつかって怪我をすることもあります。



ドアに衝突する
危険性がある

目の不自由な人はこのブロックを
頼りにして、歩いています！



目の不自由な人にとって「点字ブロック」は私達目と同じです。ブロックの上に物や自転車を置くようなことは、絶対にやめましょう。



心のバリアをなくしましょう



だれもが住みよい福祉のまちづくりを推進するためには、高齢者や障害者等に対する認識不足や無理解による差別、偏見などの「心のバリア」を取り除くことが大切です。私達一人ひとりの互いの理解と思いやりが福祉のまちづくりの実現には欠かせません。皆様のご理解とご協力をお願いします。